

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年10月11日(2024.10.11)

【公開番号】特開2023-38603(P2023-38603A)

【公開日】令和5年3月17日(2023.3.17)

【年通号数】公開公報(特許)2023-051

【出願番号】特願2021-145411(P2021-145411)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

A 63 F 7/02 304 D

【手続補正書】

【提出日】令和6年10月3日(2024.10.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

演出を実行する演出制御手段と、

表示手段と、

音出力手段と、

可動体と、を備え、

前記可動体は、第1位置から前記第1位置よりも前記表示手段を被覆する位置である第2位置に移動可能であり、

30

前記演出制御手段は、

前記有利状態に制御されるか否かを示唆する示唆演出の映像として所定映像を前記表示手段に表示可能であり、

前記所定映像のうち特定シーンが表示されているときに、前記可動体を前記第1位置から前記第2位置に移動させることができあり、

前記示唆演出において前記有利状態に制御されることが報知された後、前記有利状態に制御されたときに、前記特定シーンを少なくとも含む特定映像を表示可能であり、

前記特定映像において前記特定シーンが表示されたときに、前記可動体を前記第1位置から前記第2位置に移動させず、

前記示唆演出が実行されているときに、特別演出を実行可能であり、

前記所定映像として、前記特別演出に関する特別演出映像を前記表示手段に表示可能であり、

前記特定映像において、前記特別演出映像を表示せず、

前記示唆演出において、前記特別演出が実行されないときよりも、前記特別演出が実行されるときの方が前記有利状態に制御される割合が高く、

前記音出力手段は、

前記所定映像が表示されたときに、前記所定映像に対応する所定音を出力可能であり、

前記特定映像が表示されたときに、前記所定音とは異なる特定音を出力可能である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

40

50

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

従来より、大当たり中にリーチ演出を再度実行する遊技機が提案されている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

10

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開2005-334092

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

リーチ演出は、役物が落下するなどの演出が実行されるため、大当たり演出中に再度リーチ演出が実行される際も、役物落下等の液晶の視認性を妨げる演出が実行され、遊技者が不満を感じる虞があった。

20

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

この発明は、上記の実状に鑑みてなされたものであり、遊技者の不満を防止し興趣向上させることを目的とする。

30

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

(1) 遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

演出を実行する演出制御手段と、

表示手段と、

音出力手段と、

40

可動体と、を備え、

前記可動体は、第1位置から前記第1位置よりも前記表示手段を被覆する位置である第2位置に移動可能であり、

前記演出制御手段は、

前記有利状態に制御されるか否かを示唆する示唆演出の映像として所定映像を前記表示手段に表示可能であり、

前記所定映像のうち特定シーンが表示されているときに、前記可動体を前記第1位置から前記第2位置に移動させることができあり、

前記示唆演出において前記有利状態に制御されることが報知された後、前記有利状態に制御されたときに、前記特定シーンを少なくとも含む特定映像を表示可能であり、

50

前記特定映像において前記特定シーンが表示されたときに、前記可動体を前記第1位置から前記第2位置に移動させず、

前記示唆演出が実行されているときに、特別演出を実行可能であり、

前記所定映像として、前記特別演出に関する特別演出映像を前記表示手段に表示可能であり

前記特定映像において、前記特別演出映像を表示せず、

前記示唆演出において、前記特別演出が実行されないときよりも、前記特別演出が実行されるときの方が前記有利状態に制御される割合が高く、

前記音出力手段は、

前記所定映像が表示されたときに、前記所定映像に対応する所定音を出力可能であり、 10

前記特定映像が表示されたときに、前記所定音とは異なる特定音を出力可能である、ことを特徴とする。

10

20

30

40

50